

問題

表1 脊椎動物の1回の産卵数

コイ	18万～53万
イワシ	5万～8万
トノサマガエル	約2000
イモリ	50～300
シマヘビ	6～22
トカゲ	6～12
フクロウ	2～3
イヌ	1～12
ニホンザル	1

図2 シマウマとライオンの視野

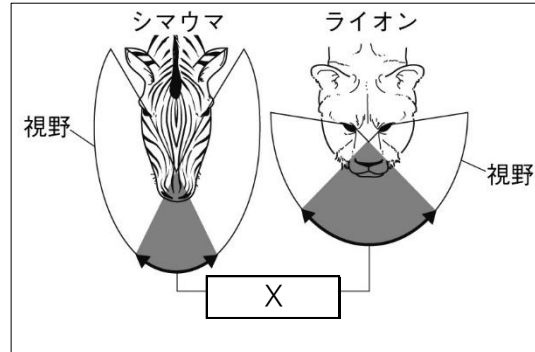
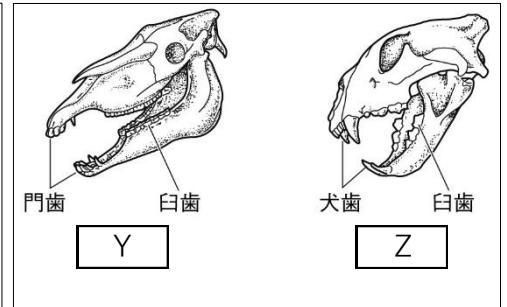


図3 動物の歯の形



- ① 魚類や多くの両生類は、体内・体外のどちらで受精するか、書きなさい。
- ② は虫類と鳥類の多くは、体内・体外のどちらで受精するか、書きなさい。
- ③ 魚類、両生類、は虫類、鳥類のように、雌が体外に卵を産み、その卵から子がかえることを何というか。
- ④ 哺乳類のように、雌の体内で受精した後に卵が育ち、子としての体ができてから生まれることを何というか。
- ⑤ 次のア～エの動物では、それぞれ水中・陸上のどちらで卵からかえるか、書きなさい。
ア：魚類 イ：両生類 ウ：は虫類 エ：鳥類
- ⑥ は虫類や鳥類の卵には、魚類や両生類の卵とはちがって殻がある。卵に殻がついている理由を書きなさい。
- ⑦ 表1のコイやイワシなどの動物は、他の動物に比べて1回の産卵数が多いが自然界でその個体数が増えすぎることがない。その理由を書きなさい。
- ⑧ 図2の X の範囲は、どのような範囲をあらわしているか、書きなさい。
- ⑨ シマウマの目が側方に向いていることで外敵から身を守るのに役立つ理由を、図2を参考にして書きなさい。
- ⑩ ライオンの目が前方についていることで、どのような利点があるのか、書きなさい。
- ⑪ 図2中の Y と Z はそれぞれ何動物であるか、書きなさい。

①	体外	②	体内	③	卵生	④	胎生
⑤	ア 水中	イ 水中	ウ 陸上	エ 陸上			
⑥	(例) 乾燥を防ぎ、つぶれないようにするため						
⑦	(例) 他の多くの動物に食べられてしまうから。						
⑧	(例) 立体的に見える範囲(両目で見える範囲)。						
⑨	(例) 視野が広くて広範囲を見渡せるため、敵を見つけやすいから。						
⑩	(例) 獲物となる動物との距離をはかりながら追いかけることができるという利点。						
⑪	Y 草食 動物	Z 肉食 動物					